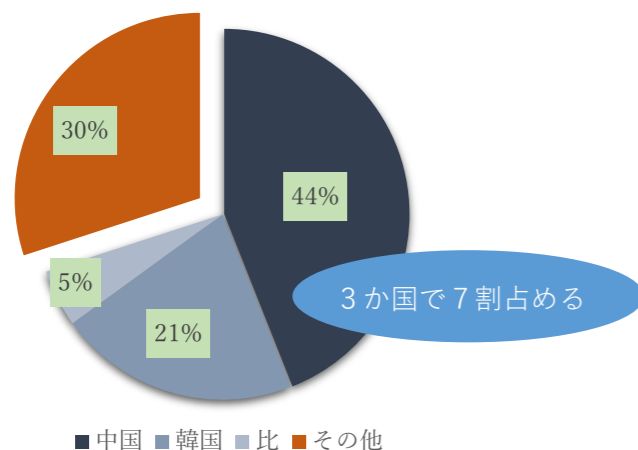


外国人世帯を対象としたハンドブックの作成について

検討の方向性（案）

区内在住外国人の状況等と前回の協議会の意見

○ 区内在住外国人の状況等



- H31時点の区の外国人住民数は約2万人（5年前と比べ4～5割増加している）
- 近年、留学や就労関係の増加傾向がみられており、区でも今後、外国人の増加が想定される
- 小中学校に在籍する児童生徒数も増加  
小学校在籍：約450人・中学校在籍：約130人（令和2年7月時点）

前回の協議会の要約(令和2年1月)

外国人児童・保護者のための就学ハンドブックの必要性をメインに意見を頂いた（以下：要点）

- ・日本人向けの就学ガイドをただ翻訳しただけでは、理解されない（文化や教育に関する価値観の違い）
- ・自国と日本との教育文化のギャップの解消と、就学への不安の軽減が目的
- ・中国語・英語・韓国語を作成
- ・区内の教育・保育現場の職員等の意見もふまえたうえで検討が必要

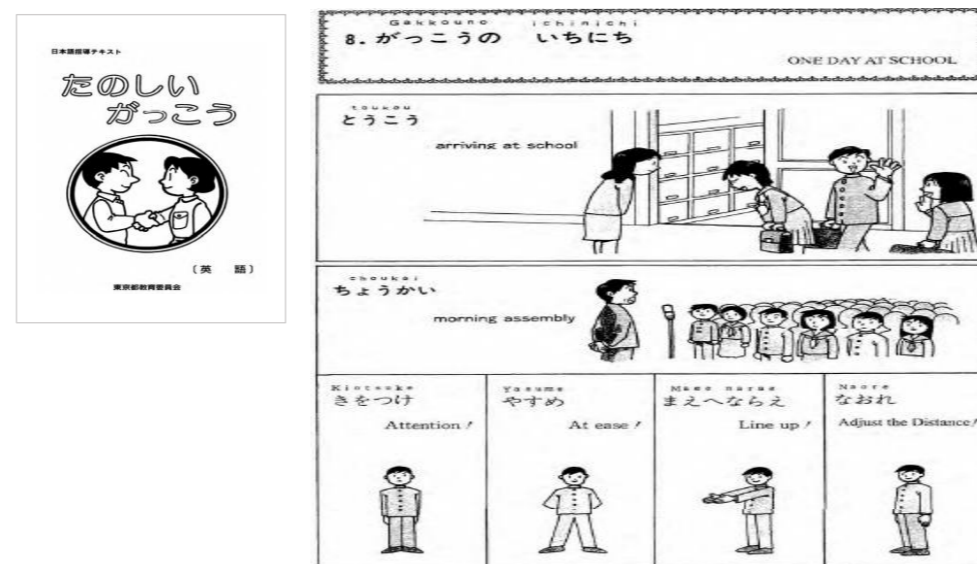
発行目的

- 外国籍の保護者・児童に向けた就学ハンドブックの発行を検討
- 日本の学校や教育制度についての紹介や、就学における相談対応等についてまとめ、冊子として配付することにより、外国籍児童とその保護者の、就学に向けた不安感の軽減・解消、また学校生活への円滑な適応への支援等を目的とする
- これまでの区の実績等を踏まえつつ、幼保小連携推進協議会等で検討を行い、練馬区独自の「ハンドブック」として、保護者や教育現場のニーズに対応できる冊子を作成
- 保護者向けという観点では、現状発行している「もうすぐ1年生」と同じだが、必要とされる情報がそもそも異なることが想定されるため、どういった構成にするのか等について検討が必要
- 全体の構成に加え、よくある質問等についてもQ&Aのページ等でできる限り情報を充実させる

今回頂いた意見をふまえてたたき台を作成し、来年度の幼保小連携推進協議会等で検討を行った上で、令和3年度中の作成を目指す

参考資料1

「たのしいがっこう」（東京都教育委員会）



【特徴と主な内容】

特徴：外国人児童向け/名詞や動詞、挨拶等の紹介/日本語と外国語の併記  
 主な内容：日本語指導が必要な外国人児童に対し、1日の学校生活に必要な単語や言葉をイラストで多用しながら紹介。日本語指導の充実を図り、学校生活への適応指導にも役立てていく。22か国語対応。

参考資料2

「もうすぐ1年生」



【特徴と主な内容】

特徴：就学前/入学準備/保護者向け/小学校の1日  
 主な内容：幼児期に家庭で大切にしてほしいことをはじめ、小学校の様子や子育て相談などの支援制度を周知。小学校入学を控えた子どもや保護者の不安軽減につなげる。